

府省名	経済産業省	部署名	商務情報政策局産業保安グループ
取組のポイント			
産業保安グループ(部に相当)の運営方針を明確化し、政策実現に向けた職員の動機付けを徹底。所管法令の業務フローを見直し、無駄な業務を洗い出し、手続の簡素化・合理化を実現。			
取組概要			
<p>ミッション設定ワークショップ等を通じ、柔軟な政策立案に向けた意識改革を進めるとともに、産業保安法令手続の簡素化・合理化等業務フローの見直しに取り組んだほか、勉強会の開催等による職員の能力向上等の取組を実施。</p> <p>【働き方改革のため体制、ミッション作り】 各課室の働き方改革担当による定期的な会議の開催、グループの総務課長が各課室へ出向き、相談・決裁等を行う「会いに来る政策調整官」等独自の取組のほか、ミッション設定ワークショップを実施し、グループとしてのミッションを練り上げ。</p> <p>【グループにおける業務運営方針の明確化】 7月のグループ立ち上げ時に、幹部の訓示をビデオ撮影し、全国の保安監督部へ配信。幹部の内部向け挨拶原稿は作成しない等、業務運営方針を職員に提示。</p> <p>【無駄な業務の洗い出し】 担当者が一堂に会し、電気、ガス、鉱山、火薬の法令手続について、業務フロー見直し、申請フォーマット標準化、添付文書廃止等簡素化・合理化案を作成。 課室横断的に約100名の職員を13チームに分け、組織トップに直接プレゼン・即断即決するワークアウトを企画。現在、提案内容実現に向け取り組んでいるところ。</p> <p>【職員の能力向上】 各課室において「ゆう活」勉強会を企画。外部講師の招へい、現場視察等も実施。</p>			
			
福島技術総括・保安審議官訓示の様子		担当者による業務フロー見直しの議論	
講評			
事業所ごとのワークショップなど、多くの職員を巻き込み、「働き方改革」に向けた動機付けが行われているほか、時間の使い方や仕事の進め方の再考などの取組を評価。			